

当院は下記の調査を実施しています

記

課題名 軽症頭部外傷小児に対して適切に頭部 CT 撮影を実施するための研究

調査の目的・意義

研究の目的は、軽いあたまのけがの場合に症状やご様子から CT 検査が必要なお子さんを適切に判断することです。

あたまのけが（頭部外傷）で救急外来を受診するお子さんは沢山いらっしゃいます。あたまは大変重要な臓器であり、保護者の方のご心配は当然だと考えます。しかし、国内での軽症のこどもの頭部外傷に対する CT 撮影ガイドラインは不十分な現状です。一方、CT 検査による被曝は、将来がんになるリスクが高まるかもしれないと言われていいます。このため、私たちは、CT 検査が必要であると判断したお子さんに対しておこなうべきだと考えています。

調査の方法

対象：軽いあたまのけがのために当院救急外来を受診されたお子さん

お子さんの様子や症状について簡単な問診表の記入をお願い致します。

診察後に CT 検査の必要性や治療についての説明を致します。

調査期間： 2016年 5月～ 2017年 12月

調査項目：

お子さんの年齢、もともとあるご病気や治療、どのようにけがをされたか（原因）、けがされた部位、けがをされた時と救急外来での様子と症状、CT 検査必要性和実施の有無、CT 検査結果、その後のご様子などの経過

※お子さん（患者さん）の氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

調査実施機関

国立成育医療研究センター（HPにて概要を掲載 <http://www.ncchd.go.jp/>）

※ 調査への参加を希望しない場合には、お手数ですが、下記の調査責任者へご連絡ください。

調査責任者：救急診療科 植松悟子 連絡先：03-3416-0181